

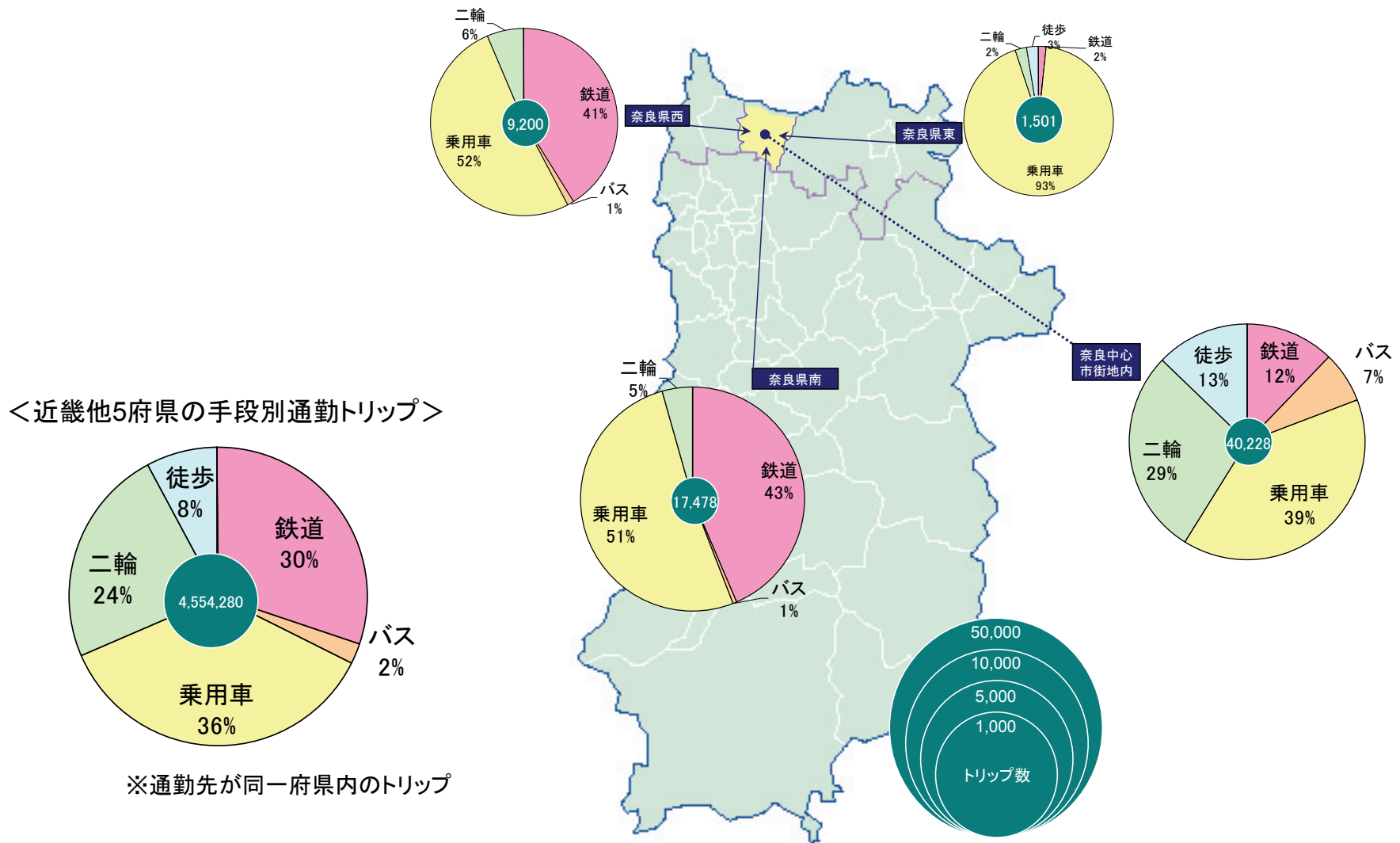
第3回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会

【日常交通への対応】

平成23年1月17日

1. 日常における奈良中心市街地への流入状況

- ・通勤目的での奈良県内からの中心市街地流入トリップの分担率は、乗用車が最も高くなっている。
- ・他の近畿府県と比べると、奈良県の乗用車分担率は高い。
- ・中心市街地内々の分担率も乗用車が最も高く、交通量としても多い。



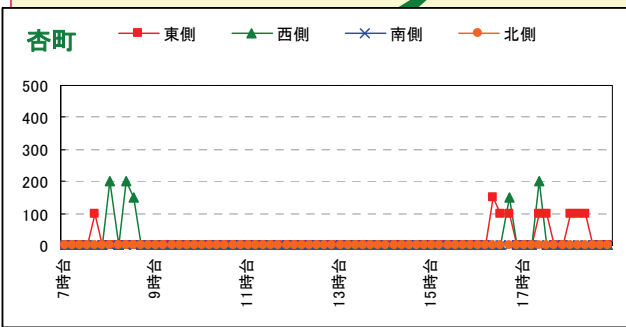
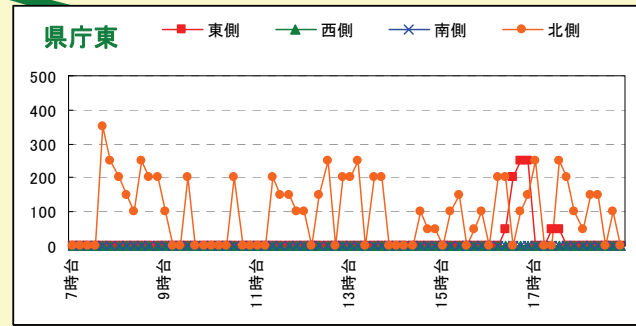
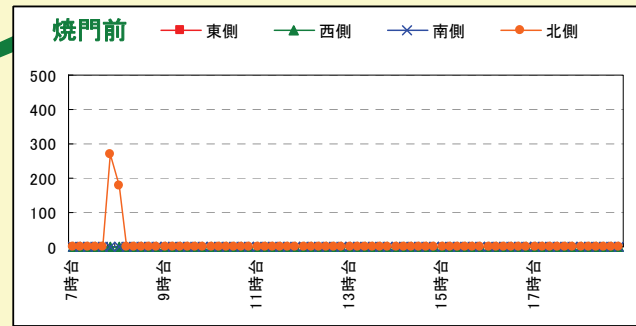
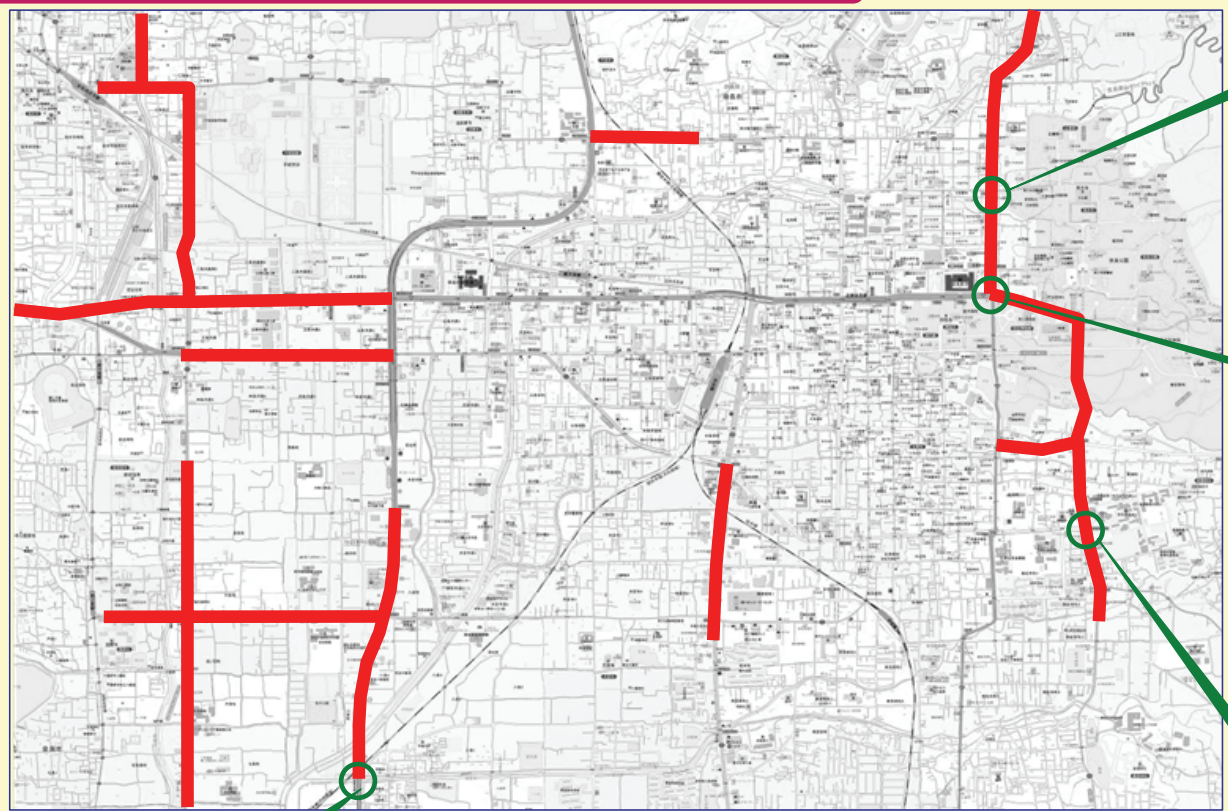
中心市街地への手段別通勤流入トリップ

※通勤先が同一府県内のトリップ

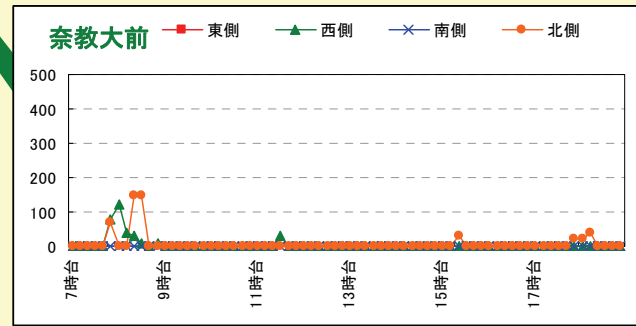
2. 奈良中心市街地周辺における渋滞状況

- ・県庁東交差点で日中を通じて、慢性的に渋滞が発生している。
- ・中心市街地への流入口である杏町や焼門前、奈良教育大前などについては、朝通勤ピーク時間帯に限り渋滞が発生している。

奈良中心市街地の渋滞箇所



出典) 奈良県みんなで作る渋滞解消プラン



3. 日常交通対策での検討対象の設定

日常交通の特性

1. 日常における奈良中心市街地への来訪状況

奈良中心市街地への通勤目的の流入トリップは、自動車の分担率が高くなっている。

2. 奈良中心市街地周辺における渋滞状況

中心市街地の流入入口において、朝夕の通勤・帰宅ピーク時間帯に渋滞が発生している。



日常交通対策として、通勤交通に着目する必要性



事業所に対する実態調査を実施

通勤交通の自動車分担率が高い背景

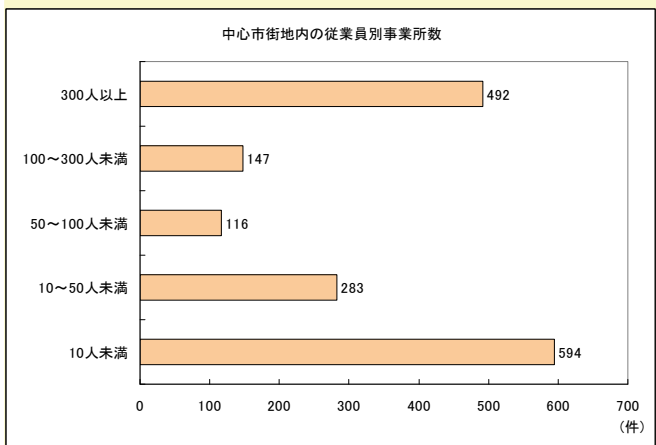
項目		想定される理由
公共交通に関すること	自宅から交通拠点へのアクセス性	・自宅から最寄り駅までのアクセス性が悪い
	交通拠点間の移動性	・公共交通は時間がかかる・運行本数が少ない
	交通拠点の利便性	・乗継が悪い ・待合環境が悪い
	交通拠点から事業所へのアクセス性	・端末交通がない ・端末交通のダイヤが不便 ・端末交通の定時性が悪い
事業所に関すること	雇用者や通勤者の意識	・公共交通に関する知識が不十分 ・自動車利用による環境への負荷等の認識不足 ・公共交通利用促進を図る制度がない

4. 事業所に対する通勤実態調査の概要

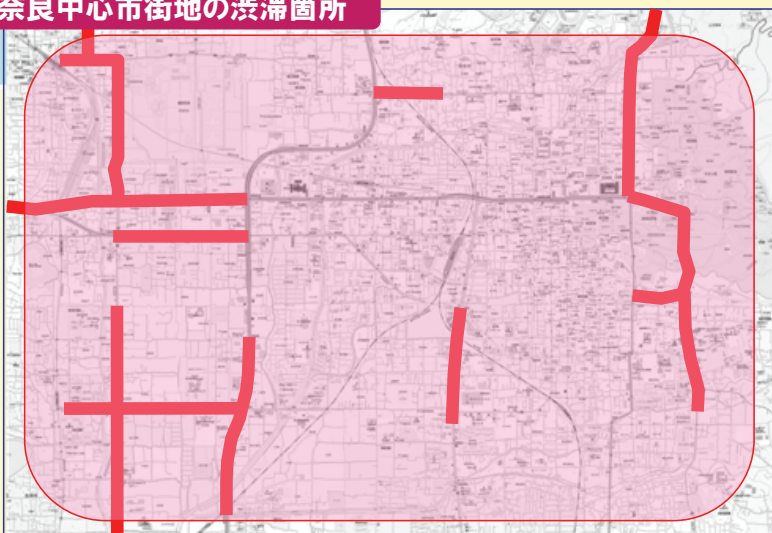
事業所通勤実態調査の実施目的

平日の朝・夕に中心市街地内で生じている交通混雑について、公共交通への転換促進を図ることによる混雑緩和の可能性について検討するため、中心市街地内の各事業所における通勤実態やマイカー通勤自粛に対する考えを把握し、さらに利用者のニーズに沿った公共交通利用促進策を検討するための基礎資料とすることを目的に事業所に対するアンケート調査を実施する。

調査時期	平成23年1月下旬
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
調査対象	奈良中心市街地内の事業所のうち、従業員数が10人以上の事業所(1038件/1632件)
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none">・事業所の属性(形態・従業員数・駅やバス停までの距離等)・従業員の通勤状況・マイカー通勤の理由・有効と考えられるマイカー通勤対策 等



奈良中心市街地の渋滞箇所



<調査対象地域>

・中心市街地内の渋滞箇所を考慮し、概ね右図の範囲を調査対象地域とする

出典) 奈良県みんなで作る渋滞解消プラン